

1) システムの名称 :

周産期システム MapleNote (メイプルノート)

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け :

5. 画像検査系、11. 患者説明・情報開示系

3) 特色 :

周産期システム MapleNote は、周産期における母子の診療記録を一元管理しスムーズな診療をサポートするシステムです。妊婦健診経過の時系列参照機能やパルトグラム機能、助産録や分娩記録、出生証明書といった文書記載機能など周産期システムに必要な機能を搭載していることはもちろん、多くのスタッフが関わるシステムだからこそ周産期情報の閲覧や管理を直感的に行えるインターフェースにこだわり、必要な記録を漏れなく行うことができます。

4) 画面／構成図を含めた分かりやすい説明 :

■医療機関の運用に合わせて自由度高く画面や書式を構成しスムーズに入力

同一妊婦における周産期をひとつのユニットとし、妊娠期から分娩・産褥期までの母子情報を管理します。必要な情報を最低限の操作で記載・編集・閲覧できる画面設計で、画面レイアウトや表示項目は自由にカスタマイズが可能です。病院独自の既存書式をシステムに搭載することもできます。

■他システムを組み合わせることで、高度な利用を実現

周産期システム MapleNote

妊婦健診・パルトグラムなど、妊娠から出産直後のデータを一元管理

カルテ記事記載システム C-Note

ハイリスク妊婦が多い病院で、手術記録や日々の診療記事を詳細に記録

画像ファイリングシステム Claio

胎児エコーや経膈エコー、コルポなどの検査機器データをファイリング



■電子カルテ・エコー・分娩監視装置との連携

電子カルテ連携により、患者情報を記録に活用したり、起動、結果送信を行ったりします。超音波装置からは画像やDICOM SR情報の取り込み、分娩監視装置からはレポートやバイタル情報連携、ビューア起動が行えます。



■主な機能

妊婦健診

母体と胎児の情報を分かりやすく表示。病院毎に入力画面を自由にカスタマイズすることができ、ユーザ別に表示項目の設定を行うことも可能。ボタン1つで母子手帳モードへ切り替えることができ、エコー装置からDICOM SRで出力される計測値の自動転記や一覧表示も可能です。



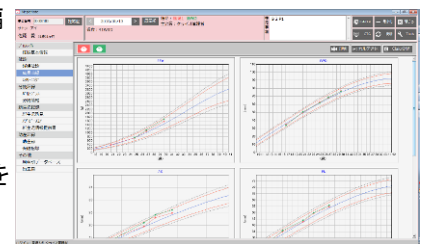
パルトグラム

分娩分類に従って入力項目を変更したり自動的にパルトグラムを作成したりできます。分娩監視装置との連携により、母体のバイタル情報を自動入力できます。



成長曲線

JSUM 提供の標準偏差値を利用し、胎児計測データから成長曲線を自動生成します。多胎児の場合にも SD 値を1つの成長曲線上に生成できます。



助産記録

アプガースコア引用や新生児SD値自動計算により、効率的に助産記録を作成。他文書引用で入力の手間を軽減し、情報の整合性を保ちます。



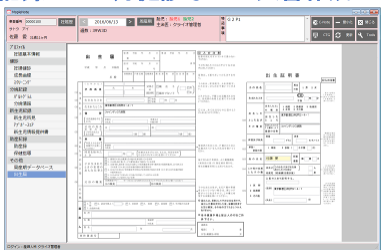
アプガースコア・CTGレポート連携

出生後、1分後・5分後・10分後のアプガースコアを入力し、結果を助産録などに引用することができます。分娩終了後にCTGレポートをPDF変換し、Claidoで保管できます。



出生証明書・産褥経過記録・1か月健診などの文書作成

出生証明書や産褥記録、1か月健診などの文書・記録作成が行えます。医療機関の書式に合わせて新生児情報提供書なども作成することができます。



統計機能

研究や業務に必要な情報を取り出します。抽出条件や表示項目の設定も可能。日本産婦人科学会が行う周産期データベース統計にも対応しています。



5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無：

- ・ HL7 形式による患者検索
- ・ DICOM SR

6) 動作環境（ソフトの場合）、ハードスペック（ハードの場合）：

■サーバ構成

シングルサーバ構成（※必要に応じてウォームスタンバイ構成クラスタ構成、仮想環境）
オペレーティングシステム：Windows Server 2016, Windows Server 2019 Std
DBMS：Microsoft SQL Server 2017 Std, Microsoft SQL Server 2019 Std
CPU：Intel® Xeon® Processor E5-2623 v3 (10M Cache, 4C/3.00 GHz) 以上
メインメモリ：8GB 以上
HDD：1TB(実行容量) 以上

■クライアント構成 ※電子カルテ相乗りを想定の為、推奨スペックを記載

オペレーティングシステム：Windows 8.1, Windows10
CPU：Intel Pentium プロセッサ 以上
メインメモリ：4GB 以上推奨
画面解像度：SXGA(1280×1024) 以上

7) 稼働までに必要な作業・期間：

病院担当者様、電子カルテメーカー様、及びモダリティメーカー様と打合せ（5～6回程度）・通常4～6か月程度

8) 価格（桁数（日本円における桁数）、「ご相談」は不可、桁数帯・金額・金額帯を入れても良い）：

ソフトウェア・導入作業費用：7～8桁

9) 保守の内容と費用：

■保守内容

対応内容：稼働時初期教育（オペレーション説明、マニュアル配布）、運用開始時立会い
障害発生時の電話サポート、リモート又はオンサイト対応、毎月のログ確認
前提条件：リモート接続可能な保守用VPN環境が有る場合

■保守費用

システム規模、保守内容によって異なります。

10) 問い合わせ先（販売会社 担当者、URL、e-mail等）および開発元（もし別途あれば）：

株式会社ファインデックス（旧ピーエスシー）

<https://findex.co.jp>

東京本社 〒105-6133 東京都港区浜松町 2-4-1 世界貿易センタービル 33F TEL:03-5408-3745 FAX:03-5408-3744

四国支社 〒790-0003 愛媛県松山市三番町 4-9-6 NBF 松山日銀前ビル 11F TEL:089-947-3388 FAX:089-947-1133

大阪支店 〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜 2-6-18 淀屋橋スクエア 11F TEL:06-6220-1401 FAX:06-6220-1402

※弊社HPのお問合せフォーム（医療システム・サービス）をご利用ください。

https://findex.co.jp/inquiry/inq_pro.html